

健康のひろば

院内報

2007.

8

月号

ホームページ <http://www.kakegawa-hsp.jp/>

愛365日 掛川市立総合病院



病院説明会が行われました

本年の職員募集に合わせ、看護師・助産師採用試験の受験予定者を対象に、病院説明会が開催されました。説明会は6月～7月にかけて3回、行われました。看護学校の学生さんを中心に参加があり、最初に看護部長からの話の後、説明が行われ、後半には看護師長の案内のもと、院内の見学をしました。

当院では、看護師・助産師の随時募集も行っています。お問い合わせください。



C・O・N・T・E・N・T・S

② 平成18年度決算報告

- ③ 糖尿病勉強会
両親学級
病院の概況
人事異動

④ ナースキャップ

● 助産師・看護師募集中!

詳しくは、管理課 庶務係 ☎0537-22-6211まで

平成18年度決算

当院の平成十八年度経営状況をお知らせします

平成18年度は、診療報酬の引き下げ改定や、全国的に問題となっている地方自治体病院の医師不足など、病院経営を取り巻く環境は厳しいものでした。

その中で、平成18年10月からは、市民の皆様のご理解・ご協力により、救急医療体制の見直しを行ったほか、今後、急性期医療を担う病院にとって必須となるDPC（診断群分類包括評価）制度の導入準備や外部機関による経営分析を実施しました。

経営状況ですが、入院・外来とも患者数が前年度に比べ減少したことにより、医業収益が減少しました。特に外来患者の減は、病診連携を進めていることによるものです。

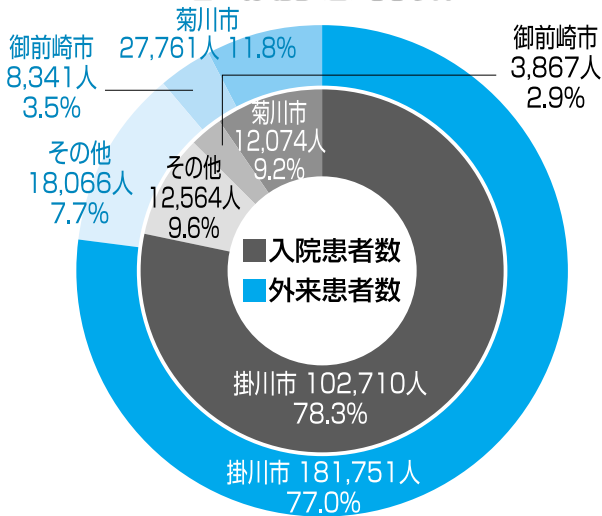
一方、医師の処遇改善に要した経費や診療材料の増により、医業費用が増加しました。その結果、病院事業収入は、

87億8,956万円、病院事業費用は91億708万円となり、差引3億1,752万円の純損失となりました。

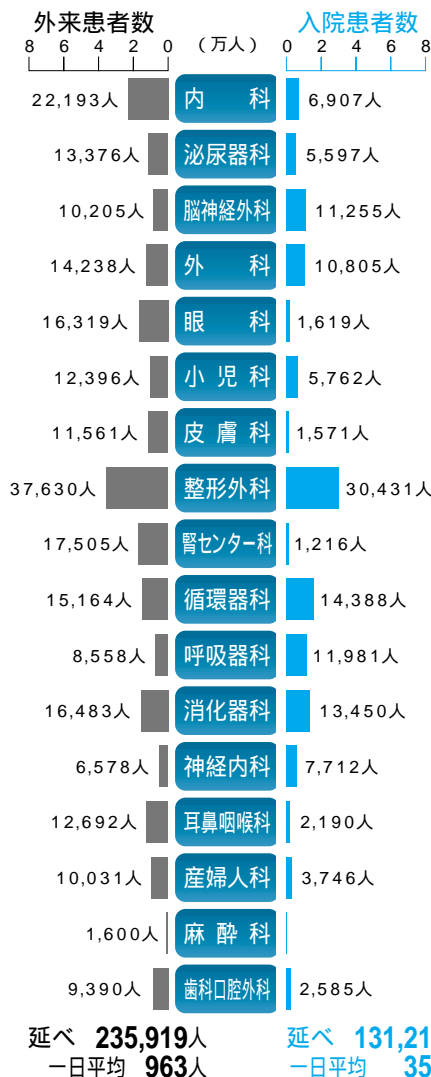
また工事関係では、施設や設備の老朽化対策として、ナースコール設備の更新工事等を実施したほか、超音波画像診断装置等の医療機器を整備し、医療の高度化、患者サービスの向上に努めました。

平成19年度におきましても、病院を取り巻く厳しい状況は変わりませんが、病院の基本理念である「地域の中核病院として、愛365日の心で、優れた医療の提供」を実現するため、経営改善を進めるとともに、今後の中東遠地域の医療のあり方について検討を深めて参ります。

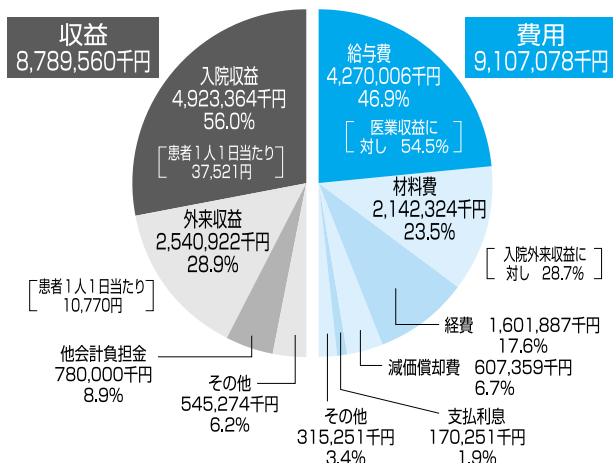
地域別患者数



科別患者数



収益的収入支出



糖尿病医療スタッフと糖尿病患者・一般の方へ

糖尿病勉強会を開催します



と き 平成19年9月15日(土) 14:00から16:00
と ころ 掛川市美感ホール
講 師 多摩大学統合リスクマネジメント研究所教授
 医療リスクマネジメントセンター所長
 真野俊樹先生
テーマ 「糖尿病と医療経済」
参加費 500円
問 申 掛川市立総合病院 看護事務室
 榛村 ☎22-6211(内線2706)

3階東西病棟の再編により、3階病棟(1病棟)として生まれ変わりました



平成19年7月1日から3階東西病棟の再編を行い、1病棟とし、「3階病棟」となりました。これにより許可病床数は450床のままで、40床を休床することになります。

これは、現在進めている経営改善計画の一環で、病床の効率的な運用を図るために必要であると判断されたためです。

今後とも、当院では経営効率の改善のために、病床の弾力的な運用と医療従事者の適正配置を進めて参ります。

面会時間のお知らせ
 当院の面会時間は、午後2時から午後7時までです。
 患者様が療養に専念できるよう、時間

■お願ひします

採用職員

- ◇看護師 (7/1付) 刑部 映里 病棟2階東
- ◇看護師 (7/1付) 郷戸 明子 病棟4階西
- ◇看護師 (7/1付) 吉田里紗 病棟5階西
- ◇非常勤医療補助員 (6/11付) 衛藤 秀子 人間ドック係

■ありがとうございました

退職職員

- ◇非常勤事務員 (7/1付) 鈴木 佳野 人間ドック係
- ◇非常勤医療補助員 (6/30付) 三ツ谷 恭子 人間ドック係
- ◇非常勤事務員 (6/30付) 板垣 弘子 人間ドック係

厳守にご協力をお願いします。
 また、病室に入退室される際には、必ず手洗いをするようお願いいたします。

募集

両親学級

～新しい家族を迎えるために～

両親学級は、新しい家族を迎える為の勉強会です。夫婦・家族のあり方を考える機会として、ぜひご参加ください。

と き 8月25日(土) 午後1時30分から3時30分
と ころ 掛川市立総合病院外来棟 健診室
対 象 胎動を感じる頃の妊娠20週以後の方とそのご家族
参加料 資料代 200円 (おやつ付き)
講 師 掛川市立総合病院助産師
問 申 掛川市立総合病院 ☎22-6211
 3階病棟(内線2531) 要予約

病院の概況

(6月)

区 分		人 数 [名]	前月対比[名]
患者数	外 来	延 べ 19,695	-254
		1日平均 938	-12
入 院	延 べ	11,305	-344
	1日平均	377	1
赤ちゃん 誕	男 の 子	17	4
	女 の 子	17	2
	計	34	6
人間ドック 受 診	1泊2日コース	14	-5
	延 べ	673	33
	1日平均	32	1
	脳ドック 計	6	-1
		693	27

看護部
だより

ナースキャンプ

No.3

基礎Ⅲ

宿泊研修

H19
6/22~23

三ケ日
青年の家にて

3年目の看護師に期待すること

4西 中山達也

平成19年度の基礎Ⅲ研修では、スローガンとして「自分以外にも目を向けよう（咲かせた花に実をつけよう）」を掲げ、基礎研修3年間の最終年として、研修者それぞれのリーダーシップを育てていくことを目標に、研修に取り組んでいます。

研修内容としては、自己目標の立案からスタートし、①料理コンテスト、②三ヶ日青年の家での宿泊研修③ロールプレイング（リーダー体験）、④事例検討会があります。研修での体験を通じて、リーダーシップ、メンバーシップを理解し、研修と日々の業務がリンクするように、それぞれが培ったリーダーシップを職場で実践していくことが目標です。先日の宿泊研修では、荒波の中カッター訓練を行いました。悪天候による荒波が研修者を一段とたくましくさせてくれたのではないでしょう

今年度から教育委員となり、基礎Ⅲ研修の担当者となりました。まだまだ未熟である私にとって、とてもプレッシャーのかかる仕事でありますが、同時にやりがいのある仕事だと感じています。

3年目の看護師たちと同じ目線で考え、身近な立場からのアドバイスやディスカッションをしていけたらと思っています。



豪雨の中でのカッター訓練



『救急医療研究会』として

活動をはじめました

救急外来 清水まゆみ

心肺停止時の初期対応が、救命にたいへん重要である事が言われ始め、院内職員23名の会員で本年度『救急医療研究会』の活動を始めました。消化器科 石津医師を部長、循環器科 内山医師と榛葉看護師を副部長とし、医師・看護師・検査技師・放射線技師・院内様々なメンバーが集まって5月からスタートしました。

最初の10分の初期対応をスタッフ全員が熟知し、心肺停止患者では刻々と変化する病態を予測して医師の指示に対応できたら…。医師が到着までに現場に居合わせた医療者として何をしたら良いのかを学び、質の良い心臓マッサージと確実な人工呼吸、適切な治療がスムーズに行なわれる事ができるように学習しています。

月1回の研究会は業務終了後18:00頃からシミュレーションを中心に行なっています。会員のスキルアップとともに各自が日々感じている疑問点や学びたい内容を皆で共有できたらよいと考えています。「心肺蘇生の質が救命の成否と予

後を決定する最大の因子である」といわれています。院内職員の救命に関する知識・技術を向上させると共に、活動に賛同でき研究会に参加できるメンバーが増えるように頑張っています。



研修会の様子

東京女子医科大学
看護学部1年生34名が、
6月29日、7月4日の
2日間、
見学実習に來ました

